

【Btrieve Class for .NET】バージョン毎の機能比較表

Btrieve Class for .NET の主な機能をバージョン間で比較しています。

(○:対応済み)

主な機能	v6	v7	v8	v9
ランタイムフリー 実行モジュールを無償で配布可能	○	○	○	○
LINQ(統合言語クエリ)に対応 Btrieve のデータに対して LINQ クエリーの使用可能 サンプルコードはこちら	○	○	○	○
Unicode 形式の文字列データ型に対応 Actian Zen のデータ型 NCHAR と NVARCHAR をサポート		○	○	○
Metadata V2 データベースに対応 Actian Zen の最新メタデータバージョンをサポート			○	○
DDF クラスにて CLIENT ID に対応 複数トランザクションの並列実行をサポート			○	○
.NET Core 3.1、.NET 5 ~ 9 に対応 Blazor を含む最新の .NET 環境での開発可能				○
Extended クラスの機能強化 AddFields メソッドと FillAll メソッドの追加によって、Extended オペレーションがより簡単に使用可能				○
BTRVEX API による Extended クラスのパフォーマンス向上 Btrieve オペレーションを使用したデータ処理で、より高いパフォーマンスを実現				○
Actian Zen の時系列データ型 AUTOTIMESTAMP と TIMESTAMP2 の対応 時系列データへのアクセスが、より簡単に実行可能				○
ストラクチャービルダーの VSIX 対応と Entity class 生成機能の追加 Visual Studio 2022 との統合と Entity クラス生成をサポート				○



株式会社エージーテック

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-17-5

Daiwa神田橋ビル 6F

お問い合わせ先: <https://www.agtech.co.jp/contact/>